



猫も人も幸せに

9月20～26日は動物愛護週間

近年社会問題となりつつある、飼い主のいない猫の繁殖。それによる被害が相次いでいます。繁殖の主な要因は、安直な考えによる餌やりです。

不妊去勢手術をしておらず、大量に産まれた子猫の引き取りの問い合わせも後を絶ちません。猫の増加を地域の問題として捉え、猫と人の共生について、考えてみましょう。

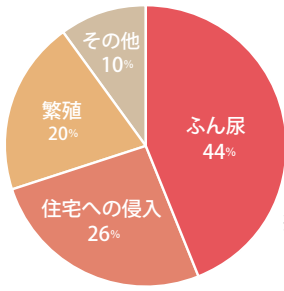
猫に関するトラブル

ここ数年、飼い主のいない猫に関する相談が数多く寄せられています。その大半は、猫のふん尿被害です。その他、住宅への侵入、マーキングによる異臭、鳴き声、車の破損被害などが挙げられます。

猫がかわいくて仕方がないが、室内飼育は難しいという場合は、置き餌をしない、餌やふん尿の撤去を徹底するなど、周辺住民への配慮をお願いします。

猫好きの人がいる一方で、猫が苦手な人もいることを忘れないでください。管理の意志を見せることで、苦手な人とも分かち合い、相互理解につながる場合もあります。

市が対応した猫による被害 (平成31年4月～令和2年3月)



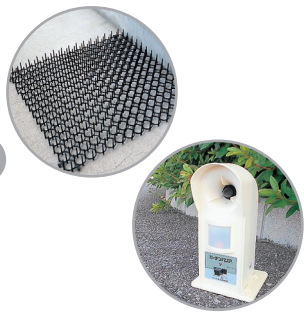
※市が実際に出向いて対応した件数の割合です。電話での苦情・相談は含みません。

飼い主のいない猫で お困りの人へ

家の敷地内に猫が住み着いている、ふん尿被害などで困っている人は、猫にとつて居心地の悪い環境づくりをしていきましよう。

猫除け対策例

- ① 忌避剤
酔・香辛料・ニンニクなど
 - ② 構造物・障害物
とげとげシート・網など
 - ③ その他
超音波機器・ブザーなど（西条保健所にて貸し出し可）
- ※必ずしも、すぐにその場から猫がいなくなるとは限りません。



これ以上は近づけニャい…



— 飼い主のいない猫を増やさないために —

令和2年6月の動物愛護管理法改正に伴い、猫の引き取り要件は厳しくなっており、駆除目的の引き取りは行っていません。これにより引き取り依頼があった猫の送致数は、減少傾向となっているものの、近年の愛媛県の殺処分数は、残念ながら全国ワースト3位以内に入る状況が続いており、中でも新居浜市の猫送致数が県内市町でワースト1位となっています。無責任な餌やりは、このように不幸な猫を生み出しています。本当の意味で猫を救いたいのであれば、不妊去勢手術を受けさせてください。

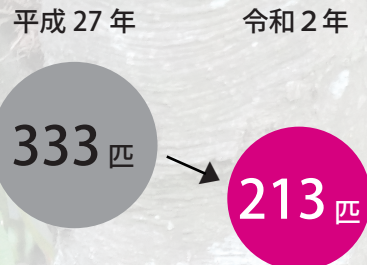
望まれない猫の出産をなくし、殺処分数を減らすため、TNR活動が有効な手段とされています。

令和2年 県の猫収容数



譲渡先が見つかる

市の猫送致数



T rap

捕まえる

猫がけがをしないようにおりなどを使って保護します。猫がおりに入ると速やかに布で全体を包み込んで猫を安心させます。

N euter

不妊去勢手術

動物病院にて不妊去勢手術を行い、手術済みの目印として、猫の耳先をV字カットします。全身麻酔がかけられているので、猫は痛くありません。

R eturn

元の場所に返す

その猫が暮らしていた元の場所に返します。地域の猫として、一代限り大切な命を見守ってあげましよう。



愛媛県動物愛護センター所長

石山 恵 さん

動物の生涯に愛情を

県動物愛護センターでの業務内容について

当センターは、大きく分けて動物管理業務と動物愛護啓発業務を行っています。動物管理業務とは、行政が引き取りをした犬猫や捕獲した犬の収容および処分、動物取扱業の登録事務や監視指導などです。動物愛護啓発業務は、犬猫の適正飼育のための講習会や学校などでの動物愛護教室、犬猫の譲渡事業などを行っています。

寄せられる相談の中には、収容された犬猫の譲渡事業に

関する相談、飼い主のいない猫による被害相談があります。また、春から夏にかけては飼い主不明の子猫に関する相談が多くなります。

猫の収容頭数に関しては、愛媛県でも年々減少しているものの、令和2年度は、収容頭数964頭、処分頭数862頭、譲渡数99頭となっています。そのうち、収容頭数全体の約75%が飼い主不明の子猫です。

譲渡事業について

当センターでは、収容した犬猫のうち譲渡適正がある犬

猫を新たな飼い主へお譲りしています。この譲渡事業は命を救うことはもちろんですが、「地域の模範飼い主の育成」も目的としています。

犬猫の譲渡を希望する人には、適正に飼えるかどうか、家族で十分話し合うこと、譲渡前講習会を受講していただくことなど、衝動的に飼育を開始してしまうことのないよう、家族ごとに希望を伺いながら、マッチング譲渡を行います。犬や猫との生活が、家族、犬猫、さらには地域社会にとっても、楽しく良いものであつてほしいと思っています。

大切にしてほしいこと

動物は「命」あるものです。飼い始めると途中でリセットできません。飼う前に、本当にペットが飼える環境が整っているかどうか、その生涯を愛情をもって飼えるかどうかをよく考え、家族で話し合いまししょう。「今はまだ飼えない」という結論も立派な「動物愛護」です。

また、ペットとの生活は高齢者や一人暮らしの人の暮ら

しに潤いや張り合いをもたらしてくれそうです。しかし、一方で予期せぬ入院や事故・転倒など飼育が継続できなくなり、ペットの行き場がなくなる事例が後を絶ちません。万が一に備え、日ごろから引き継いで飼ってくれる人を決めておくことが大切です。



動物愛護センター HP



不妊去勢手術のメリット



このように耳先をカットしている猫を見かけることはありませんか？これは、不妊去勢手術を行ったことを証明する印です。

不妊去勢手術をすると、繁殖しないのはもちろんのこと、発情による鳴き声や異臭を放つマーキング行動が抑制されます。また猫自身にも欲求不満からくるストレスの軽減や、感染症予防、長生きができるなどの効果が期待できます。

地域の課題として

猫の繁殖力について

猫は繁殖力が非常に強い動物です。猫の生殖は「交尾排卵」というもので交尾の刺激で雌の排卵が起こるため妊娠する確率が高い上、一度に約5頭とたくさんの子どもを産みます。また、猫の性成熟は早く、生後半年ほどで雌猫は妊娠する能力が備わります。（※1）。

無責任な餌やりなどにより、すぐに増えてしまう猫。結果として多くの命を奪うことになっている現状をよく考えてほしいと思います。

不妊去勢手術のススメ

そんな望まれない繁殖を防ぐためにも不妊去勢手術が大切になってきます。猫たちに生きてほしいと思うのなら、手術をし、一代限りの命を優しく見守ってあげましょう。

飼い主のいない猫を保護する場合、保護用のおりをご利用ください（※2）。その後、動物病院を訪れる際は、手術前に猫が逃げ出さないように、おりに入れたまま来院をお願いします。おりを使用しなかった場合も、洗濯ネットなどに入れて来院ください。

い。手術にかかる時間は30分程度になりますが、健康状態によっては、一晩お預かりすることもあります。

麻酔や不妊去勢手術に不安を感じる場合は、術前検査をお勧めします。血液検査や心電図検査などを行うことで、猫の健康状態を事前に把握できます。手術の後、その猫が暮らしていた元の場所に返し、地域の猫として見守ってあげましょう。

地域の理解を得るために

地域の猫として見守る場合、モラルのある行動をし、地域の住民に迷惑をかけることが大切です。猫が苦手な人もいますが、責任ある見守り方をすることで、地域の理解を得られるのではないのでしょうか。

飼い主のいない猫に関する問題を、地域社会が抱える課題として考え、行政や地域などが協力し取り組んでいくことが重要です。



公益社団法人 愛媛県獣医師会顧問
寺町 光博 さん（新居浜市）



※1 環境省「もっと飼いたい？」より



※2 市で貸し出している保護用のおり



獣医師会 HP

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用を補助しています！

飼い主のいない猫の望まれない繁殖を防ぎ、良好な生活環境の保持を目的として、不妊去勢手術費用の一部を補助します。

【補助額】 メス：10,000円 オス：5,000円
※手術費用の半額が補助額に満たない場合、その額が上限となります。

【受付期間】 令和4年2月28日(月)まで
※補助要件については、市HPを参照。



詳細はこちら